

索引利用の取捨選択基準 削除／更新処理における高速化テクニック

【SELECT 処理における索引利用の取捨選択基準】

SELECT 処理における WHERE 句で指定する条件では、全レコードの 15%以下に絞り込めるのであれば、索引使用は有効であり、高速で処理が出来る

逆に、絞り込みがこれ以上であるならば、テーブルへの全件 READ を行った方が効率的である

(マルチブロックによるまとめ読みの効果が、期待できる)

【DELETE／UPDATE 処理における索引利用の取捨選択基準】

すべての処理において、索引（インデックス）を利用した方が速くなる

たとえ、全レコードを対象にした削除操作であっても、索引利用の方が高速になる

これは、Oracle 内部処理において、索引を使った方が『UNDO レコード／UNDO ブロックの生成量が少なくなる』からという理由です